

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021.6.22

担当：学びの場クリエイター 西村



どの班のごはん、カレーも、美味しそうでした！

6月16日（水）

佐賀中学校1年生「ワクワクデー」

『アルミ缶炊飯とカレー作り』

1年生の学期に、仲間づくりの活動として幡多青少年の家に。この日はあいにくの雨天で海のプログラムができず体育館でのスポーツと、昼食づくりの活動になりました。

幡多青少年の家の指導者さんが、アルミ缶炊飯の方法、火のつけ方、カレー作りについて、生徒と対話しながら説明してくれました。

- ・米を入れる時には、何に気をつける？
- ・火が燃えるには、何がいるか？
- ・薪を入れる時は何が入りやすくするか？
- ・乾いた薪は、いつでも豊富にある？
- ・（カレー作りで）何から鍋に入れるか？
- ・野菜から、何が出る？

それぞれの質問にすぐに応えたり、少し考えたり。様々な気づきになったことと思います。実際の活動も、各所で、考えながら行動している姿が見られました。また、各自がさっと役割分担し、やるべきことを見つけ、着々と進めていく様子に、仲間意識や主体性を感じ、頼もしく思いました！

雨天でもあり「火」が一番の難点でしたが、それに奮闘したこともよい経験ですね。

「なかなかつかん」「難しい」「なんで？」

「目が痛い～！（煙で）」

「火が怖い（鍋に具材を入れる時に）」

しかし、こんな声も

「火がこんなに楽しいとは思わなかった」

難しさは、奥深さの気づきにもなりますね。



米を一粒もこぼさないよう、ボウルの中で



米の洗い方、水の量をお互いに確認



かまどの場所によっても、燃え方がちがう



どうすれば、空気が入りやすいか…



家庭での経験が表れますね



火が大きくなると、混ぜるのも一苦労



水分がなくなると炊き上がり。慎重に机へ



熱さに気をつけて、どう運ぶか？

体育館での様子



「仲間づくり」はうまくいきましたか？